

井の頭恩賜公園花便り



ヌスビトハギ（盗人萩）

日本全土の平地や山地の道端や林などに見られる多年草です。高さ60～120cm程になり、細長い花序に淡紅色の花をまばらにつけます。実が盗人の忍び足の足跡に見え、ハギの花に似ていることから、この名が付けられたようです。



フジカンゾウ（藤甘草）

本州から九州の山地の林に見られます。花茎が長く伸びるので、開花時の草丈は50～150cmになります。自生環境や花の咲く時期はヌスビトハギに似ていますが、全体的に大型で淡いピンク色の蝶型の花を咲かせます。

※どちらもマメ科 ヌスビトハギ属



ヌスビトハギ
3枚の小葉



フジカンゾウ
5～7枚の小葉